

2023年度 国際観光学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 石川 桂 |
| テーマ | 「ホテル業入門」 ホテル業は、非日常の「やすらぎ」や「ときめき」を感じて頂くために、ホテルの持つハード・ソフトに加え、最大限のホスピタリティをもってサービスを提供しています。 本ゼミでは、ホテルの概要や仕組み、各部門の機能、ホスピタリティなどについて、その基礎的な知識を学ぶと共にグループワークで事例研究、調査をしていきます。 |
| サブテキスト等 | 適宜プリントを配布 |
| お勧め対象 | ホテル業などに興味がある人、進路の選択肢にホテルを考えている人 |

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 生田 亨 |
| テーマ | 「ツーリズム産業を学ぶ」 ツーリズム産業は、航空会社、鉄道会社、バス、船舶等の運輸業や、ホテル・旅館の宿泊業、観光地・テーマパーク等の観光地、旅行会社、MICE 関連会社などの様々な業界から構成されています。本ゼミでは基本的なツーリズム産業の仕組み、現在の課題、将来の予測などを、グループワークで研究・調査していきます。 |
| サブテキスト等 | 適宜資料を配布します |
| お勧め対象 | ツーリズム産業に興味があり、進路として検討している人 |

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 椎野 信雄 |
| テーマ | 「性(sex/gender/sexuality)の国際学」 国際社会や観光の現場にいる人は、女と男だけでしょうか。その男女が性関係を結ぶのが、セックスなのでしょうか。アクション・リサーチ・メソッドやスタディ・スキルの基礎を学びながら、「性」を通して世界を知り、「性教育」をアンラーンしませんか。自分の性のあり方と世界のつながりを再発見し、ディスカッションできる能力を育てませんか。 |
| サブテキスト等 | 橋本・池谷・田代『教科書にみる世界の性教育』かもがわ出版 2018 |
| お勧め対象 | 日本式教育の「性教育」しか知らない人、あるいはすばらしい性教育を体験したことのある人、性と世界の関係について関心のある人。 |

| | |
|---------|--|
| 担当者名 | 清水 麻帆 |
| テーマ | 「文化を活用した観光と地域の活性化/まちづくり」 世界には、伝統文化や文化遺産からポップ/サブカルチャーや食文化、音楽、アート、古民家などの古い建築物まで様々な地域固有の素晴らしい文化が存在し、観光や地域に活用されています。それらの事例をグループで調査し、ディスカッションを行いながら、様々な文化を学び、それを活用した観光のあり方や地域の活性化及びまちづくりについての理解を深めます。また、都内または関東エリアでのフィールドワークを行う予定ですが、状況により変更の可能性もあります。 |
| サブテキスト等 | 適宜資料を配布します。 |
| お勧め対象 | 文化自体や文化を活用した観光や地域の活性化及びまちづくりに興味・関心がある人におすすめです。 |

2023年度 国際観光学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 中井 治郎 |
| テーマ | 地域の人に愛される銭湯、布団の敷かれた畳部屋、繁華街の路上で酔いつぶれるスーツ姿のサラリーマン、そして街中にあふれる“anime”調のキャラクター。日本で暮らしている人々からすると何の変哲もない当たり前の景色も、異なる視点を持つ外国人観光客から見ると「見るべき日本の景色」となることがあります。そこから新たな文化的な価値が発見されることもあれば、逆にマナー問題などのトラブルに発展することもあります。自分の暮らす社会のさまざまな景色がインバウンド視点で「発見」される現場を実際に見て歩くことを通して、現在、この社会に向けられている観光のまなざしを考えたいと思います。 |
| サブテキスト等 | 適宜プリントなどを配布 |
| お勧め対象 | 異文化コミュニケーションに関心のある人、自分の日常をいつもとちがった視点から眺めて「面白がる」ことができる人。 |

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 種村 聡子 |
| テーマ | 「接客サービスのマネジメント」 人的サービスとデジタルサービスを比較しながら、客のニーズを満たすサービスの設計や運営はどのようなものかを考えます。ゼミの前半では新書を読みながら、レジュメの作成、発表、グループディスカッションを行います。後半では、サービスが提供される過程を図式化したうえで、覆面調査を実施し、改善点の提案を行います。 |
| サブテキスト等 | 適宜資料を配布します。 石原直『接客サービスのマネジメント』日経文庫 1260 (2012) 日本経済新聞出版社、を使用する予定ですが、文教サービスでは入手が困難なため、教員が準備します。 |
| お勧め対象 | 接客に興味がある学生、将来サービス業に就きたい学生にお勧めします。 |

| | |
|---------|--|
| 担当者名 | 八木 良太 |
| テーマ | 「アパレル企業の経営戦略」 ユニクロ（ファーストリテイリング）、ZARA（インディテックス）、ワークマンなどのアパレル企業の経営戦略やマーケティングの考察を通じて、企業経営について学びます。また、衣類ロス、サステナブルファッション等、アパレル業界が取り組むSDGsについて考えます。 |
| サブテキスト等 | 齋藤孝浩『ユニクロ対ZARA』（日経ビジネス人文庫） 土屋哲雄『ワークマン式「しない経営」』（ダイヤモンド社） |
| お勧め対象 | ファッション・雑貨などの小売流通業界、企業の商品開発・マーケティングに興味のある人 |

| | |
|---------|---|
| 担当者名 | 海津 ゆりえ |
| テーマ | 「フィールドワーカー入門—地域と人に学ぶ技術」 光を観ると書いて観光。光とは地域の宝や誇りのこと。光には災害や課題を乗り越えようとする人々の知恵も含まれます。身近なまちに光を当て、宝を探すトレーニングをしましょう。この講義では、文献を用いてフィールドワークの理論と応用を学び、学外での調査を行います。 |
| サブテキスト等 | 宮内泰介・上田昌文『実践 自分で調べる技術』（岩波新書 1853） |
| お勧め対象 | ツアープランニング、観光まちづくり、まち歩き、宝探し、人と話すこと—こんなキーワードに関心ある学生にお勧めです。 |